

真のやさしさとは

鳥取県 福部未来学園中学校 1年 岡部 礼隼

日本人はやさしい。私たちは、外国の方々からこのように評価されています。実際、日本人のやさしい国民性や、細やかな気づかいを話題にしたテレビ番組などを、最近よく見るようになりました。日本人の間にも、自分たちはやさしい人間性をもった民族だという意識が広まっているように思います。でも、果たしてそれは本当でしょうか。

6月のある日、僕は兄と汽車に乗っていました。空席もあったので外の景色を眺めながら二人で話をしていました。ある駅に停まったとき、五十代くらいの女性が乗車してきました。白いつえを持ち、サングラスをかけていたので、目の不自由な方なんだろうなと思いました。女性は、車内の手すりにつかまりながら、空いていた席に座りました。

しばらくしてある駅に到着したとき、その女性が降りようと立ち上がりました。僕は、(ここで降りるんだな)と思いながら見ていました。すると、外国人の女性がずっと席を立ち、目の不自由な女性が安全に出口まで行けるように、手をそえてゆう導し始めました。

車内にはと中から乗車してきた多くの大学生もいましたが、しゃべったり、スマホをいじったりしていて、誰も女性を気にかけている様子はありませんでした。

僕は何か、とてもはずかしい気持ちになりました。たくさんの日本人の乗客が気にもかけていない中で、外国人の女性は、その場の状況をすばやく把あくして行動に移していたことに、とても驚きました。僕は、(手を貸してあげた方がいいのかな)と思いながら、実際には見てただけで行動に移すことができませんでした。他の乗客たちも、どんな理由があったのかわかりませんが、何も行動を起こさなかったという点で、外国人の女性とは明らかに違っていました。

汽車を降りるまで、「OK?OK?」と声をかけながらよりそっていた外国人の女性は、本当に格好いいと思いました。

日本人は、相手のことを気にかけたり、その人の気持ちになって考えられるという点で、やさしいと評価されるのは本当かもしれません。でも本当に大切なのは、何かを感じたとき、それを行動に移せる勇気だと思います。気づいていても行動に移せなければ、気づかないのと同じです。本当の意味でやさしいというのは、この外国人の女性のような人のことを言うのだと思いました。

今回のことを通して、私たち日本人は、持ち前のやさしい心で感じたことを、さらに行動に移す勇気を持つことが必要なんだと、外国人の女性から教えられたような気がしました。